

国際学会 Report

第89回 米国心臓協会学術集会 (AHA 2016)

2016年11月12～16日 ニューオーリンズ

住友 直方

埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科教授

第89回米国心臓協会学術集会(American Heart Association 2016; AHA 2016)は、ニューオーリンズで2016年11月12～15日にErnest N. Morial Convention CenterでフィラデルフィアのSteven R. Houser会長のもと、開催された(写真1)。ニューオーリンズはアメリカ合衆国ルイジアナ州南部にある同州最大の都市である。メキシコ湾に面し、ミシシッピ川の河口に位置する重要な港湾都市で、元来は穀物・綿花など、ミシシッピ川流域の農産物の輸出港として発展し、のちには工業都市・観光都市としても発展した。ニューオーリンズは、「新オルレアン」という意味で、ルイ15世の摂政オルレアン公フィリップ2世が名前の由来である。かつてはフランス領ルイジアナの首府であり、市内のフレンチ・クォーター

地区は今なおフランス植民地帝国時代の雰囲気を残している。2005年8月29日にメキシコ湾沿岸に上陸したハリケーン・カトリーナにより、ニューオーリンズは陸上面積の8割が水没した。フレンチ・クォーター地区は水害を免れたものの、一部の地域が壊滅的な被害を受けたことは記憶に新しい。夜は町中でジャズが流れ、人々は街に繰り出す(写真2)。AHAの会場でもジャズの演奏が行われていた(写真3)。

AHAはbasic life support(BLS), pediatric advanced life support(PALS)などをサポートする大きな学会である。

心肺蘇生に関する小児の報告として、Maryam Y. Naim先生(Children's Hospital of Philadelphia, PA)が



写真1 AHA 2016会場(Ernest N. Morial Convention Center)